６年生図書委員による全校読み聞かせ！　７月６日(火)

今年度は、コロナ禍にあって、図書ボランティアの方による読み聞かせが行えない状況が続いています。
そこで、６年生の図書委員と学校司書が読みきかせを企画してくれました。

録画しておいた絵本を、朗読に合わせて提示していていきます。

全学級へ一度に映像を送信できるシステムステムがありませんので、少々手間がかかりますが、コロナ禍にあって、このスタイルが定着してきました。

朗読も事前に録音してあります。

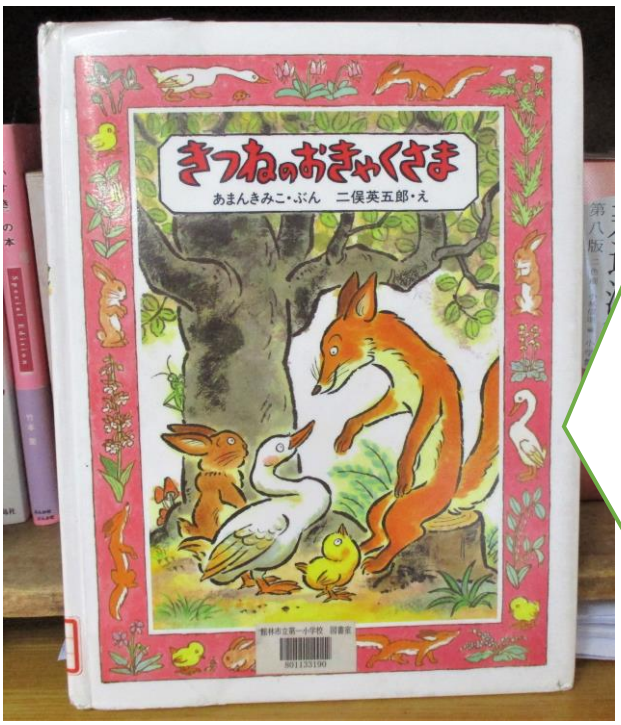
スピーカーからは心地よい声が聞こえてきます。よく練習していたのでしょう。とても上手でした。

どの学級も読み聞かせに夢中です。

本の選定もよかったのだと思います。

最後に、読み聞かせをしてくれたメンバーを紹介。

みなさん、ありがとうございました！



本の紹介

「きつねのおきゃくさま」

　お腹を空かせたキツネが歩いていると、やせたヒヨコが歩いてきました。少し太らせてから食べてやろうと思いました。

　ヒヨコはいいすみかを探していると言うので、きつねは自分の家へ誘いました。ヒヨコは「キツネお兄ちゃんって優しいね」と言ってついてきました。キツネは生まれて初めて優しいなんて言われたもので少しボーッとしてしまいました。

　その後、ヒヨコはやせたアヒルに会いました。話してみるとアヒルはいいすみかを探しているようです。ヒヨコは「キツネのお兄ちゃんの家がいい」と誘います。アヒルは最初キツネに食べられるのではないかと心配しましたが、ヒヨコに「キツネお兄ちゃんは親切だから」と言われてついてきました。キツネは陰でそれを聞いてうっとりしました・・・

　・・・さてさて、この後どんな展開が待っているのでしょうか・・・